

特集

# 恵比須さんを巡ろう!!



## 雨

続きたった夏も終わり、季節はもう秋。涼しい風に吹かれながら、佐賀の街を歩くのに丁度良い季節だ。とはいえ、ただの散歩じゃ面白くない。そこで佐賀市が現在実施しているスタンプラリー「さが恵比須八十八ヶ所巡り」だ。北は三瀬から、南は佐賀空港まで、佐賀市内の恵比須さん88体をピックアップ。全部回ると素敵な記念品がもらえて、いろんなご利益もありそう。さらにダイエットにも効果があるかも？ パンフレットは佐賀観光案内所ほか各所で配布中。緑色の冊子を手恵比須巡りの旅を楽しもう!!



## なぜ佐賀市内には恵比須が多いの？

佐賀市内には8百体以上の恵比須の石像がある。2011年には恵比須の数日本一と認定された。なぜ恵比須さんが多いのか。いろんな説がある。鍋島藩主が兵庫県の西宮神社から恵比須像を譲り受け、祀ったことから住民に広まったという説。佐賀城下町は海運業が盛んだっただけで、海の神様である恵比須さんを祀った。佐賀には長崎から江戸へと異

国文化を運ぶ「長崎街道」があり、旅の安全を祈願する神様として恵比須を祀った。佐賀近郊には牛津などに石工の里があり、簡単に注文できる環境が整っていたから。はつきりした理由は分からないが、どの恵比須にもきちんとお茶や水、花が供えられている様子を見ると、佐賀人の根底にある文化としてすっかり根付いていることが伝わってくる。

## 初めて見る佐賀のいろいろな姿

スタートは「旅立ち恵比須」から。JR佐賀駅のプラットフォームにある。改札口でパンフレットを見せると、駅員さんが笑顔で中に入れてくれた。2番ホームに上がると、真新しい堂々とした恵比須さまが、柔和な表情で旅人を見守っている。八十八ヶ所巡りの安全を祈願する。ホームを下りて、駅構内の佐賀市観光案内所でスタンプを押してもらおう。まず1個ゲット。残り87個だ。

### のべ千人が達成

「さが恵比須八十八ヶ所巡り」は2011年10月にスタート。これまでにのべ千人が全88恵比須制覇を達成しており、中には百回以上制覇している人もいます。市内の人が中心ですが、福岡など九州各県から参加している人も多く、パンフレットの最初には、巡礼の注意事項のほか、豆知識が記されている。スタンプを押してくれる「世話人」のお店の営業日・時間を確認する、とのこと。せっかくだらなくてもスタンプをもらえないこともあるようなので注意が必要だ。またパンフレットは1人1冊まで。家族や知人のものであっても複数冊の押印はできない。

巡礼に一番便利なのは自転車。駅構内にある佐賀市観光案内所の前にレンタル自転車があるが、ここはダイエットのため、中心部は徒歩でチャレンジすることとする。基本的には番号順に行くと無駄がないようだ。

中央大通りを下り「忍者恵比須」を探す。焼肉

恵比須あれこれ?

まるでゆるキャラ? 個性派恵比須



太閤恵比須

かつて太閤秀吉が腰を下ろして休憩したという「太閤石」の伝説にあやかり、石の上でのんびりと寝そべっている姿に



まんぷく恵比須

とにかく青い!! 白い眉毛と歯もインパクト大。向かいには同じく青い大黒も鎮座している



踊り恵比須

鯛を釣上げたときの喜びを表現したダイナミックな恵比須さん



三味線恵比須

棹を持つ手が説得力ありすぎ!! 和楽器店のご主人が演奏する姿を忠実に再現されている

中央大通りから白山商店街を抜けて、エスプラッツ周辺を巡り、牛嶋天満宮へ向かう。ここには5体の恵比須さん



屋さんの店先で発見。福岡の黒田藩からスパイとして送り込まれた、という伝説があるそうだ。恵比須さんの背中にある鯛の尾ひれが、忍者ハットリくんのマフラーのように見える。さて世話人さんは? パンフレットを読むと、この恵比須の世話人は2カ所あり、昼と夜どちらか開いているお店でスタンプをもらえば良いようだ。午後3時という事で「八頭司伝吉本舗 佐賀唐人店」に行く事に。ガイドブックの「忍者恵比須」コラムにある詳しい地図を確認する。赤い丸は恵比須さま、青い丸は世話人の場所を示している。通りの向こう側か。白い「恵比須八十八ヶ所巡り」の旗が立っていて分かりやすい。横断歩道を渡って、お店に入る。買い物でもないのに中に入るのはちょっと気がひけるな、と思っていると店員さんから声をかけてくれた。「スタンプですね! こちらにどうぞ」。ホッとすする。さらに羊羹とお茶も出してくれた。よくよくパンフレットを見ると、「特典 お茶とお菓子サービス」と書いてある。登録銘菓「昔ようかん」はまわりがサクサクして中はしっとり。すっきりした緑茶との組み合わせに、すっかりリラックスマードになってしまった。



身代わり恵比須



大智福德恵比須



双体恵比須



八坂成就恵比須



忍者恵比須



旅立ち恵比須

3日目は佐嘉神社周辺を巡り、車で市南部に行く。まずはエスプラッツ前の「大福帳恵比須」だ。帳簿を持って笑う、上司にしたいナンバーワン恵比須さんだ。スタンプは「あけぼの菓子舗」に。

昭和のイケメン

この日の成果は20カ所だった。すっかり更地になった清和高校跡を見ながら、一路、高橋へ。「福餅恵比須」を巡ったあと、長崎街道を歩いて戻る。日新小学校の前にある「手作りケーキの古川」さんの店先にあるのが「身代わり恵比須」だ。かつて同店が与賀町にあった時も店先に置いてあった。戦時中、焼夷弾が落ちて恵比須さまの背中が傷が入ったが、家族は疎開して無事だったという。隣には先代店主が作った素朴な表情の羅漢さんが未完成のまま鎮座している。佐賀市中心部へ長崎街道を歩く。伊勢神社を巡り白山商店街に帰ってきたところで2日目を終了。この日の成果は20カ所だった。

城内に入り、県立博物館前から北上。駐車場の中にある「聞き耳恵比須」のスタンプは道向こうのコンビニでもらうように変更になっている。県庁前を通り西へ。興賀神社境内にあるのは「大智福德恵比須」だ。2007年に佐賀恵比須会によって建立されたもの。鯛ではなく知恵の象徴である巻物を抱えている。学業成就にご利益があるそうだ。

彫られている。1690年に建立された市内最古のものだという。そんなに永く2人でいるとは、よほど気が合っているに違いない。このスタンプはちょっと離れた大隈記念館にあるので要注意だ。

よほど気の合う2人

2日目は片田江周辺から攻める。「お顔恵比須」は旧福田家周辺にあるようだが、うまく見つけれなかった。旧福田家に行きスタンプをもらい場所を聞くと、隣の駐車場にあるという。早速行くと、ひっそりと「顔だけ」の恵比須さまが。字面だけで完全にホラーだが、表情が穏やかで禍々しさはない。しかし、なんで顔だけなんだろう? 材木橋を南下し、クリークを渡ったところにあるのが「双体恵比須」。2体の恵比須さんが石に

んがいる。巡礼対象の「満天恵比須」は胸についた立派な宝珠が特長だ。「宝珠」は栗のような形をしたマーク。恵比須さんの中にはお腹や烏帽子に刻まれているものがある。仏教では「意のままに様々な願いをかなえる宝の珠」と言われていて、宝珠を触りながら願いごとをすると叶うという噂も。とりあえず胸を触ってみる。何かご利益があるかな?

そのまま南下し、野中鳥屋園さん方面に回る。柳町界限に戻って巡礼を続ける。八坂神社境内にある「八坂成就恵比須」は金運上昇のご利益があるという。念入りに拝む。恵比須さまというとはほとんどが笑った顔なのに、この恵比須さまはクールな表情だ。スタイルも良くてまさに二枚目。スタンプは向かいの旧古賀銀行にあるカフェに。対応してくれた店長さんもシャープなナイスミドルだったのは単なる偶然か。そろそろ日が落ちてきたので本日は終了。22カ所巡礼した。

対応してくれた女性は世話人になるにあたって、八十八ヶ所を巡ったという。八幡神社南側の自転車屋さんの店先にあるのが「ハンサム恵比須」くつきりとした目鼻立ちと太い眉毛が昭和のイケメン風だ。繁華街の中にある恵比須を巡り、最後は佐嘉神社へ。「とんさん恵比須」は3mを超える巨体。台座には金山の石が使われていて、なんとなく目出たい。

ここからは車を使い佐賀市南部を巡る。久保田にある「土井の古賀恵比須」は300年ほど前に建立された、顔が大きな恵比須さま。石垣を積んだ場所に安置されており、かたわらの大樹とともに厳かな雰囲気醸し出している。この辺りは昔、繁栄した「古賀津」という船着き場だったという。さらに南下して、東与賀から最南端の佐賀空港へ。「雲上恵比須」は雲の上に乗る、空の安全を祈る。なんだか気持ち良さそう。川副から諸富へ。細い路地を行きつ戻りつしながら寺井津にある「空見上げ恵比須」に到着する。たれ目たれ眉で上を向いている、なんとも心に沁みる恵比須さんだ。スタンプは「大木醤油」さんでもらう。明治創業の醤油醸造元でご主人に醤油づくりの話や同。蓮池を巡り、最後は北川副の「石造恵比須」へ。安置されている西宮社は「蛭子尊」を御祭神とする、九州では最も古い神社。恵比須さんも1731年に作られた県内で最も古いものの一つだ。スタイルも良く外国人のような印象だ。この日は32カ所を巡って終了。

### 温泉入浴券ゲット

4日目は佐賀市北部を車で行く。まずは神野東

浴びるのも良いだろう。

終了後、佐賀市中心部に戻り、呉服元町にある「開運さが恵比須ステーション」へ。ここにパンフレットを提出すると認定証が発行される。88カ所制覇すると張り子恵比須か恵比須扇子がもらえる。ちなみに10カ所で恵比須さんシール、44カ所で恵比須さんストラップ、66カ所で恵比須さんクリスタルが贈呈される。同ステーションでは、煎餅や手ぬぐいといった恵



比須さんグッズも販売しており、お土産の購入にぴったりだ。

「恵比須八十八ヶ所巡り」に参加して面白かったのは、日頃なじみのないお店に入って、店の人とおしゃべりができたこと。その土地の歴史や文化などを語る様子は、本物の郷土愛を感じさせた。お菓子屋さんの世話人が多かったのも印象に残った。ついついつまみ食いしてしまい、かなり歩き回った割にはダイエットにならなかったのは誤算だった。恵比須を通して、佐賀のいろんな場所の楽しみながら学習する良い機会。過ごしやすい秋に、ぜひチャレンジしよう!!



湯上がり恵比須



おむすび型恵比須



石造恵比須



空見上げ恵比須



雲上恵比須



ハンサム恵比須



### 恵比須ちぎり絵ワークショップ

バルーンフェスタ期間中の11/1~3  
バルーンフェスタ期間中、ワークショップを開催致します。

- ①日にち 11月1日~3日(土~月)
- ②場所 恵比須ステーション
- ③料金 300円
- ④内容 恵比須絵付け 張り子  
恵比須ちぎり絵 割りばし入れ  
恵比須ちぎり絵 年賀はがき

うだ。富士町方面に下り、ラスト88カ所目は熊の川「ちどりの湯」の「湯上がり恵比須」。体が丸々として親近感がわく。同温泉でパンフレットを見せると、入浴券がもらえる。達成記念にひと風呂

の「おむすび型恵比須」へ。スタンプをもらっている、同じように巡礼している男性が入ってきた。市内在住で今回が2回目のチャレンジ。「恵比須さんにそれぞれ個性があつて面白いですね。中心部は自転車で、郊外はバイクで回っています」と話すと、さっそうとバイクを走らせていった。金立にある「沈み恵比須」は道路よりも低い位置に安置されている。スタンプは「徳永鉛総本舗」へ。恵比須さんそっくりのご主人から、かつて小城と神埼を結ぶ宿場として栄えた「徳永の宿」の話や同。名物の徳永鉛を2個もらう。素朴な味わいが疲れた体に沁みていく。



大和を巡った後、一路、三瀬へ。最北端の「山神恵比須」は旬菜舎さんと山の店先にある。そばには天然水「山神の水」を汲む場所があり、なんとも涼しそ